



ひまわり教室5・6年



10日は5,6年生のひまわり教室がありました。昨日同様インターネットが世界中に簡単につながってしまうこと、デジタルタトゥーと言われるように、1度流れた情報(画像や言葉)は消えないことなどネットを使用するときの注意の他、ネット依存やながらスマホで自転車事故をしてしまうと未成年でも多額の賠償金を請求されるなど、使用による危険性を確認しました。紹介していただいた事例は、県内でも発生しており、身近な問題です。最後に、警察が作成したDVDを視聴しました。SNSで知り合った高校生のお姉さんが仲良くなってから、自画像を送るよう頼んできます。言葉巧みに「友達なのに・・・」「信用していないから送ってくれないの?」などと人の優しさにつけ込み、送る情報をだんだんエスカレートさせていきます。

犯罪に巻き込まれた人は、特別な人でしょうか?自分は大丈夫、自分は気を付けているから・・・と、始め主人公の女の子もお家の人を安心させていました。講師の方からは、「ひまわり教室は、みなさんが被害者にも犯人(加害者)にもならないためにしている。」とおっしゃっていたことが印象に残っています。これからも、もしかしたら危ないかもしれない、便利だからこそ危険だという気持ちをもって、利用するとき慎重にしてほしいと思います。

ひまわり教室でわかったこと、気を付けたいこと



今までも気を付けていたけれど、今日インターネット依存症の話や事件を聞いて、今まで以上に気を付けないといけないと思いました。フィルタリングをかけて変な事件や事故に遭わないようにしたいと思います。警察の人の話を聞いたり、ドラマを見たりしても同じことをいっていたので、それだけ大切なんだとわかりました。

ひまわり教室で、都会だけではなく福井でも同じような事件があることがわかりました。今まで自分はだまされることなんてないと思っていたけれど、この授業を受けて、インターネットはすぐに信じてはいけないと思いました。これからは考えるから利用しようと思います。

今までは無料ゲームとか安心していたけれど、ひまわり教室で教えてもらって無料ゲームでも気を付けようと思いました。大人になっても気を付けながら利用したいし、怪しいサイトには手を付けないようにしたいです。

ネットに悪口や(いたずらで)〇〇さんを殺すとか書き込むと罪に問われるなんて知らなかった。インターネットだからと、何でも好き勝手してはいけないことがわかった。



まとめ「人を傷つけない、自分のことを書かない・教えない、なんでも開かない」
・・・ネットの注意点を、先生も熱心にメモを取っていました